



学校長
印鑑省略

2026年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

学校評価項目	【教育理念】	【教育方針とは】	【長期ビジョン】
学校の教育理念・目標 ①	本校では、開学以来変わることなく、技術者として、社会人として優れた人材となれる学生の育成を目指し続けています。 その基となるのが、「三心・三共・三学」の理念です。 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働(協働)の感性 三学：自学、究学、徹学の態度	1. 協働・共学など多様な授業の経験を通して、心豊かで自立(自律)した人材を育成する 1. 実践的な演習・実習により、確かな知識と技術力を持つ人材を育成する 1. 仲間と共に成長し、企業や地域社会に貢献できる人材を育成する	【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材育成し続ける 【中期基本方針:2024～2026】 1. 文部科学省の認定校として、最新の知識、技術、技能を身につけられるよう、実践的かつ本校独自の教育課程を編成し、企業や社会から求められる自立(自律)した人材を育成・支援し続ける。 2. 学生自身が本校で学びたいと思える魅力的な学校運営を目指し、学生獲得に向けた各種施策と収益改善施策を講じ、安定的な学園経営を実践する。

【学校評価の各種活動と実行計画との関連性】
①学校の教育理念・目標の定めと具体性 ②学校運営(計画立案・PDCA・諸規程整備) ③教育活動(学科見直し各種評価) ④学修成果(就職率・資格取得・退学軽減) ⑤学生支援(支援体制・健康管理・保護者連携)
⑥教育環境(施設整備・維持更新・研修などの整備) ⑦学生の受け入れ募集 ⑧財務(財政基盤の安定性・会計監査・奨学金回収等) ⑨法令等の遵守(定期監査・個人情報保護・学校評価)

分 担	学校評価・項目	No.	推 進 項 目	No.	具体的な推進計画内容	到達目標(期待される成果)
共通	①学校の教育理念・目標 ②学校運営 ⑦学生受入	1	学園の魅力づくり	1	工業系の高校生減少や理系を志望する学生不足(企業の採用課題)を解消できるよう、通過点の専門学校として入学者増を図り、専門性を身に着けて社会へ送り出する	セイコーエプソンの求人ニーズに照らし合わせ、学則(カリキュラム)の見直しと、指導・育成領域を整理し、セイコーエプソンへの入社者を増やすことにより、専門学校のブランド力を高める
				2	高等学校のIT教育を支援・サポートし、地元で活躍できる理系・IT系の学生を拡充する	高等学校が直面している入学者減の課題とIT系教員不足を補うための新たなスキームを検討し現実化を目指す
		2	18歳人口減少に伴う学園の構造再編	1	セイコーエプソンと連携したリスキリングのスキームを検討・整理、拡充する	新規事業のスキーム整理と具体的な事業運営の開始
				2	社外のリカレント教育(個人・企業ニーズ)を検討・整理、拡充する	
	④学修成果 ⑧財務	3	収益改善施策の展開	1	費用削減および教職員の体制見直しと新領域の負荷バランスにより収益を改善する	予算枠は必達とし固定費関連を5%削減する
教務部 教務部(学務)	③教育活動	1	「5年後10年後の会社に”なくてはならない”人材」を目指した育成	1	基礎学力を身に付けさせる ・学生のレベル差に対応できる理解度向上施策に取り組む(ミニテスト・補習) ・自主学習を習慣化し定着させる	追試験件数 1.1件以下/人(前年度1.15件/人) 、A評定率前年度 (43.3%) 以上
				2	チーム力と論理的思考力を向上させる	・グループワークを継続実施して、目標達成に役立つ計画力と協調性、コミュニケーション力を身に付ける ・ロジカルシンキングの授業を継続して、物事を論理的に伝える力を身に付ける
		2	教える力の向上 (どうやって身に付けさせるか)	1	教職員が自分の専門領域を広げる、深掘りするための時間を確保して取り組む	・新規授業の組込み、独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む ・行事イベントの負荷低減による取り組み時間の創出
				2	教える力を磨く・鍛える	・常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参考にして授業方法に改善を加える ・非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善
	⑤学生支援	1	学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	1	学科・学年を超えて親睦を図るための場を設定し、学生会主体の活動を支援する	スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる
				2	ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて実践させる	・校則の重大違反なし ・授業以外のイベントにおける 無断欠席者を減らす (1回平均1人以下)
	④学修成果	2	学生の資格取得件数の向上	1	資格検定合格の目標値である1人当たり4件以上を達成する	2年間で一人当たりの資格取得件数4件以上を 全員が達成 する
				2	学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格(Bランク以上)への挑戦を促す	10P以上の特別表彰を19名以上(30%)
就職指導部	④学修成果 ⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	1	校内ガイダンスの招待企業に加え、校内での会社説明会の実施を拡大 (新規招致企業の開拓・企業との信頼関係強化)	就職内定率 95%以上 を確保する
				2	・セイコーエプソン人事部との連携によりエプソン受験者、合格者を増やす ・エプソン特進クラスの学習・指導内容を見直し、求人に合致した学生を育成する	SEC入社率 20% を確保する
				3	・「自己分析」・「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる ・企業側の採用ニーズを把握・分析し、学生への育成内容をブラッシュアップさせる	・卒業生、企業へのヒアリング、およびカリキュラム等について企業側の要望の聴取を行い改善を進める ・エプソン特進クラスの役割を強化し、エプソンで必要なスキル・知識を向上させるアプローチを展開する
入試センター	⑦学生受入	1	募集者数の拡大 および出願者増加に繋がる施策の展開	1	・ホームページのリニューアルと学生主導のSNSでPRを強化する ・山梨県へのアプローチ拡大と子言う業高校へのダイレクトアプローチで学生数を増やす ・通信高校へのアプローチを強化し、ニーズに合致した施策を展開する	出願者数増＝対前年＋15名
				2	・ガイダンス参加の拡大「高校訪問数の増加」と企業とタイアップした新しい企画の試行と実践 ・オープンキャンパス、ミニオープンキャンパスの実施内容・PR方法の見直しによる参加者増	・オープンキャンパス参加者数の増＋10% ・ガイダンス参加者数の向上
事務局	⑧財務	1	経費削減・業務の効率化	1	・経費全般の見直し ・業務の棚卸からやめるものを見極め、合理化を図る	経費予算＝5%削減
	①学校の教育理念・目標	2	出願者を増やすための活動に注力する	1	ホームページの改善(動画・SNS)、ガイダンス業者に頼らない高校への個別アプローチ	管理指標は入試センター1と2で把握